

追悼・寄贈図書リスト・月報だより

いろいろと他人にも説明してくれるので、運転できないくせに、私も理論だけは詳しくなった。次に動きだすときの準備をして止めておくため、他の車と止める向きが違っていたり、車輪が発射時に都合よい方向に向けてあった。

準備のよさは研究でも同じで、考えついた時にすぐ実験できるよう幅広く準備するので、部屋はつつい物があふれた。

<坂田さん語録>

- ・真実とは、事実を貫いて流れているものだ。時間には、質がある。高度な仕事や研究には、「質の高い時間」が必要である。
- ・独創的な仕事は、独創的な生き方から生まれる。
- ・豊かな感性から独創性が生まれる。まずは感性

を豊かにせよ。

- ・「だろう」が3回重なると、技術では破壊に通じる。
- ・学校の試験は90点とれば優でも、技術ではいつも100点が要求される。

<最後に>

何しろ元気な人で、何事も楽しくやるので、周りはいつものにぎやかであった。入れ替わり立ち代わり、いろいろな人が彼の元を訪れていた。

いつまでも、悼んでいるわけにはいかないのだが、この静けさに慣れるまではどうも時間がかかりそうだ。

和田節子（電気通信大学）

寄贈図書リスト

Asymmetrical Planetary Nebulae, Amos Harpaz & Noam Soker, Institute of Physics Publishing, 研究

会収録, B5判, 306p
ゼミナール宇宙科学, 戒崎俊一, 東京大学出版会, 教科書, B5判, 166p, 3296円

月報だより

会務案内

日本天文学会早川幸男基金募集要項

日本天文学会 早川幸男基金（若手海外学術研究援助基金）内規に基づき*、海外学術研究に対して援助を希望する者を募集（1995年度第2期）致します。

1. 援助金総額 年間約150万円
2. 援助件数 年間数件程度
3. 募集対象期間 1995年10月1日～12月31日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わずすでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類（A4紙に統一すること）、原本1部、コピー5部但し(7), (8)についてはコピー不要
 - (1) 応募用カバーシート（今月号次頁の応募用紙をA4に拡大コピーして使用する）
 - (2) 論文リスト
 - (3) 観測については、観測割当通知および観測提案の写しかそれに準ずるもの
 - (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および

研究計画の概要

- (5) 研究集会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与（口頭発表等）を証明するもの
 - (6) 大学院生の場合、研究指導者の意見書
 - (7) 航空運賃の見積書
 - (8) 関連研究論文の写し（一編）
5. 応募締切 1995年9月10日
6. 決定時期 1995年9月下旬
7. 応募書類送付先
〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台内

日本天文学会 早川基金募集係

*早川基金内規(天文月報第85巻第12号参照)による援助対象資格は「日本天文学会会員で、原則として35歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費（滞在費を除く）の援助を受けない者。」です。1995年度はこの後12月、3月の10日締め切りで募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。